



オンライン 開催あり

Zoomによる
リアルタイム配信
&
アーカイブ配信

受講料

8,000円（全4回分）

※事前入金制（お申し込み後、
口座をお知らせいたします。）

申込締切

1月30日(月)

対象・定員

教員・保育士の方を中心に
興味のある方ならどなたでも

- ・ 対面80名（先着）
- ・ オンライン200名

公開講座 2022-III 「就学前の特別支援教育」

発達障害児の早期発見・早期支援

講師 松本恵美子（関西国際大学 教育学部 准教授）

2023年 2/3(金)・10(金)・17(金)・24(金) <全4回>

◆ 時 間：19：00～20：30（18：30受付）

◆ 場 所：関西国際大学 尼崎キャンパス（302教室）

2001年は、従来「特殊教育」と呼ばれていた教育を、「特別支援教育」として大転換を始めた年と言われています。その流れの中で、特に発達障害に対する教育の必要性が明確に認識され、今日に至るまで様々な実践、制度、研究などが進み蓄積されてきたと言えます。

その蓄積について、早期発見がなぜ今必要なのか、早期発見のためのスクリーニング、支援システム、などについて振り返ってみたいと思います。

回	日程	主題	内容
1	2/3 (金)	早期発見の重要性	早期から、発達障害を持つ子供たちを意識して、彼らに関わる人づくり、環境づくりが、彼らを二次障害から守るためにいかに必要な事かを中心に考えてみます
2	2/10 (金)	発達障害児の支援システム	今日に至るまで、発達障害児の支援システムはどのように進展してきたのか。そして今後どのような進展が求められているのかについて、考えてみます
3	2/17 (金)	スクリーニングの力	発達障害児であることを医者の診断に頼るのではなく、どのような視点で乳児期から子供を見ていけばよいのかについて考えます。また、アセスメントツールである発達テストは、評価＝分析に繋がり、支援に繋がるものでなければ意味がありません。そのために発達テストの見方について具体的に伝えようと思います
4	2/24 (金)	早期発見をめぐる保護者支援	発見の時期が早ければ早いほど保護者の気持ちの揺らぎ、葛藤は強いといわれます。どのように、早期発見を早期支援に繋げていくのか、保護者支援の視点から考えてみます

大学HPの公開講座

「申込フォーム」

からお申込み下さい



KUIS 関西国際大学
Kansai University of International Studies

社会連携課
(尼崎キャンパス)

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江1-3-23

☎06-6496-4103

e-mail : kouza@kuins.ac.jp